

三杉川の住人たち～魚類



コイの産卵



ヘラブナ



ニゴイ

正体不明の魚
(1月に発見)

5月の三杉川は、魚たちの繁殖シーズンの真っ最中だ。バシャバシャという水しぶきがあちこちで聞こえる。**コイ**の産卵行動である。一匹の雌の後を2, 3匹の雄が追うようにして浅瀬の水草の辺りに群がっている。おそらく、そこで産卵・放精が行われているのだろう。近づいてもあまり逃げようとしない。コイは春から初夏にかけてが繁殖シーズンであるが、雨で増水した後などが刺激になり産卵行動が見られるそうだ。卵は一回の産卵につき20~60万粒で、成熟までには2, 3年かかる、ということである。また、コイの寿命は永く、一般的には20年ほどだが、70~80年も生きるものもいるらしい。

5月9日には、カメ調査で仕掛けておいたカニカゴに、大きな魚が入っていた。30センチ級の**ゲンゴロウフナ**（釣り人の間では**ヘラブナ**の名で親しまれている）と50センチ級の**ニゴイ**である。別々のワナに入っていた。カメ用のエサ（イワシ）につられて入ってしまったのだろう。釣り好きの部員のY君によると、これだけのヘラブナはなかなか釣れないそうだ。近くで釣り竿をたれていたおじさんが、羨ましそうにこちらを見ていた。すぐにリリースしてしまったが、ちょっと得をした気分だった。部員のH君も魚に詳しく、これはコイではなくニゴイである、と簡単に見抜いていた。

三杉川は、カメの楽園として、徐々にその名を広めつつあるが、魚たちも住人である。果たして、何種類くらいの魚が生息しているのだろうか？ これからも、カニカゴに間違っ入る生き物には、目が離せない。ちなみに、右下の写真の魚は**正体不明**である。何かの稚魚のような気もするが、よくわからない。知っている人がいたら教えてください。